

A ねえ、聞いていい？

B 何？

A 私のコート、飛ばされちゃったみたいなんだけど。窓のところにかけてたの…見てない？

B 見てないけど。

A そう。

B この風なんだから、しっかりとめとかなきゃ駄目でしょ。

A しっかりとめたよ、いつもどおり。

B いつもどおりじゃ駄目でしょ、いつもよりしっかりとめなきや。

A そうだけど、朝は風無かったんだもの。

B 諦めた方がいいんじゃない。

A そう思っ買って買いに行くところ。

B 今から？ こんな時間に売ってるところなんてあるの？

A でも必要なもの。明日は凄雨になるらしいし。

B 確かに、雨も風もひどくなるって言ってた。しかも、しばらく続くって…。

A やっぱりもう少し探そうかな。

B どんなコートなの？

A ラクダ色。

B えッ。

A それしか持っていないよ。

B ラクダ色好きなの？

A 大好き。

B じゃあ探すべきでしょ。手伝ってあげる。

A 親切だね。

B だってラクダ色でしょ。しかも大好きだなんて聞いたから放っておけないし。

A それって、ラクダ色だからなの？

B そう。ラクダのことが大好きなの。

A そんなに？

B だって命の恩人なんだもの。助けてもらったの、ラクダに……、

A どこで？

B 砂漠に決まってるじゃない、他にないでしょ？ラクダに助けられるチャンスなんて。

A それはそうだけど。

B ほら、あそこって暑いでしょ？ 果てしなく広いから、歩いてもキリがないの。だからへこたれちゃって……。

A 何で砂漠なんか行つたの？

B そんなのわからないよ、だって夢だもん。

A 夢なの？ なんだ……。

「身も心も」

★マインドトークのレッスン

A 「……行かなくちゃいけないの、私（俺）」

B 「どうして？」

A 「行きたくないな、私（俺）」

B 「どうして？」

A 「お店があるし」

B 「夫婦（親友）だろ」

A 「《ふざけんな！》客員何とかの条件じゃないんですよ」

B 「俺（私）ひとりじゃ自信がないんだよ。英語喋れるのが条件だけど、英語、

俺（私）喋れないのに等しいし」

A 「《嘘を付け！》私（俺）だって喋れないよ」

B 「《嘘を付け！》だから心細いんだよ」

A 「だったら行かなきゃいいじゃない、何で……」

B 「《この野郎！》遊びに行くんだよ。あっちの学校で格安のアパート用意して

くれてるし、観光ビザだと三ヶ月だけど一年いられるし」

A 「遊びたくない」

B 「お店、（埋める↓）朝ちゃんがいるじゃない」

A 「一人じゃ大変だよ」